

10年間受診されている方の経過報告。

「少しずつリウマチが快方へ」 匿名希望

54歳

2016年4月3日

記録を取ることや、日記などを付けることが苦手なので、うまく文章を書けないかもしれませんが、覚えていることや考えたことを書いていきます。

最初、リウマチの症状が現れたのは、手指の関節が赤く腫れることでした。痛みなどは無かったので、「整形外科ではレントゲンを撮って何もなければ、湿布を処方して終わりだな」と思ったので、隣の市にある接骨院に行きました。そこは、スポーツ選手なども通い、理学療法的な治療とマッサージなどをしてくれるところでした。1か月通いましたが、関節の腫れがひかなかつたので、その接骨院でリウマチではないかと言われ、総合病院の整形外科を紹介されました。その病院で検査の結果、関節リウマチと診断されました。最初からステロイドと抗リウマチ剤を処方されたので、その病院で治療を続けるのを迷いました。なぜなら、昔仕事の上司のお子さんがアトピーの治療で大変だったことを聞いたことがあり、ステロイドは免疫機能を抑え副作用が大きいと知っていたからです。そのとき、「リウマチは自分の免疫反応がちょっと違った方向に動いているのだから、東洋医学で体質改善をすれば、良いのではないか？」と考えました。そして、インターネットで「リウマチ治療 漢方」と検索をした結果、松本医院にたどり着きました。先生の論文は難しすぎて細かい理論を正確に理解するのは大変でしたが、感覚で「これは私が思っている東洋医学の体質改善と同じ？」と感じ、大阪の高槻市で埼玉からは何とか行ける距離だから、だめもとで行ってみようと思うようになりました。松本先生はちょっと個性豊かな人でしたが、治療法には納得がきました。

それから、少しずつ自分のペースで時に先生に怒られながら、治療をしています。現在治療を始めてから、多分10年以上経つと思いますが、私が通い始めてからもリウマチやアトピーを完治させている方の手記がどんどん増えていきました。私も幸い、リバウンドも酷いものではなく、仕事も続けられ生活も支障がないので、カタツムリくらいには治療が進んでいると思います。リウマチの値も、少しずつ下がってきているようです。

なるべく仕事の合間を縫って大阪まで通いたいと思います。鍼灸は週1回のペースでするようにしました。